

「主な活動（概要）」（小学校）

【学校名】網走市立中央小学校
【活動の名称】 小6中1交流会 ～総合的な学習の時間「12才のハローワーク」～
【活用した資源】同じ校区の中学校
【対象学年と活動の時期】6年生 2月

（項目ア—観点②絆づくり）

【活動の概要】
・卒業後に進学する中学校を訪問し、先輩との交流や授業参観を行う。

【ねらい】
・中学校へ進学するに当たり、楽しみなことや不安なこと、聞いてみたいことを直接中学生に尋ね、先輩との交流を深めるとともに、入学後の生活への期待をもたせる。

【活動の流れ】

- ①オリエンテーション（1時間）
 - ・内容説明、グループ編成
- ②ワークシート記入（1時間）
 - ・中学校について「予備知識」「イメージ」「中1の先輩に質問したいこと」という設問で構成する。
- ③中学校訪問（3時間）
 - ・交流会 ※中学校1年生への質問項目は事前に知らせておく
 - ・授業参観
 - ・模擬授業 ※小学校との差を最も体感できる「数学」と「英語」の模擬授業を依頼する。
- ④まとめ（2時間）
 - ・進学に当たっての疑問や不安を解消するために、質問したり会話したりする。 ※観察・まとめシートの活用



先輩たちが出迎えてくれました。



質問をぶつけ、答えてもらっています。

12歳のハローワーク～「中学校進学へのハローワーク」①

年 月 日

氏 名

6年生の1年が、折り返し地点を過ぎました。卒業式を除いて、学校に来る日数はどれくらい知っていますか？ 卒業後は、中学校へ進学します。そこで、後期の「みんなの時間」は、「中学校への進学に向けての準備をしよう」という内容でとります。

①中学校って、どんなところ？
～知っている・見たこと・聞いたことがある…、まずは書いてみよう。

②みんながもっている「中学校」のイメージは、どんなもの？
～「〇〇があって楽しそう」「勉強が難しそう…」なんでもいいので書いてみてね。

最後に、今日の学習についての感想を書きましょう！

自分がもっている情報とイメージを、近くの友達と交換して比べてみましょう！

ワークシート

兄弟・姉妹がいる人もいない人も、「疑問」「悩み」「不安」「期待」をもっていると思います。中学生と交流することで、進学をより楽しみにできないかな？

…と考えました。そこで！本日は、一番大切なポイントです。

③「今、中学校1年生の先輩に聞いてみたいこと」を考えよう。
～「ありません」はありません。じっくり考えてください！…浮かんできましたか？

【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】

- ・進学に対する不安を解消することで、卒業を控えた6年生に安心感と期待感を与えることができた。
- ・中学生の思いやりのある態度を見て、「いじめをしてはいけない」という意識をもつようになった。

○ 中学校への訪問を通して、漠然としていた「中学校」というイメージが、より具体的にもつことができ、仲間意識を高め、残りの小学校生活を過ごすことにつながっています。

○ 先輩と接することで入学後の目標が明確になり、不安が解消されるとともに、先輩と後輩の絆を深めるきっかけとなっています。



「主な活動（概要）」（小学校）

【学校名】幕別町立古舞小学校
【活動の名称】 全校遊び
【活用した資源】児童会活動
【対象学年と活動の時期】全学年 7、9、10、2月の朝会時4回（チャレンジタイム） 毎週火曜日の中休み（ふるまいタイム）

（項目イー観点②絆づくり）

【活動の概要】
・児童会が中心となって、全校児童で遊ぶ内容を企画し、実施する。

【ねらい】
・異学年との交流を深める活動を通して、互いに思いやる心や望ましい人間関係を築くためのコミュニケーション能力を養うとともに、リーダーシップ及びフォロアーシップを育む。

【活動の流れ】
①児童会の担当児童が遊びの内容を企画し、準備を進める。
②全校朝会において、遊びの内容などを知らせる。
③担当児童が全校遊びの全体進行を行う。



＜全校遊びの様子＞
全校遊びでは、ドッジボール、鬼ごっこ、王様じゃんけんなど、全児童が無理なく、楽しめる内容を行います。

④全校遊びの様子等を作文や日記に書き、全校朝会や学級のスピーチで発表する。

＜児童の声＞

- ・全校遊びをみんなで楽しく遊ぶことによって、みんなが仲よくなって、いじめをしようという気持ちがなくなりました。（6年生）
- ・1年生のお世話をすることで、1年生のことをもっとよく知ることができた。（6年生）
- ・準備をすることが大変だったけど、みんな楽しく遊んでくれ、最後にありがとうと言ってくれたのでうれしかった。（6年生）
- ・全校遊びで、6年生がやさしくしてくれてうれしかった。（3年生）
- ・全校遊びをする日は、学校へ行くのが楽しみです。（2年生）
- ・廊下でお兄さんやお姉さんと会ったら、いつも優しくしてくれるようになりました。（1年生）

【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】

- ・全校遊びを通して、異学年間の相互理解が深まり、児童が良好な関係を築くことができた。
- ・上級生は下級生により優しく接するようになり、下級生は上級生の言うことに対して素直に聞くようになった。

- 全学年が楽しめる遊びをとおして、異年齢の子ども同士のかかわりを深め、つながりを広げるにつながっています。
- 計画から実施までを児童に進めさせることで、児童の主体性を育み、リーダーシップを高めることもつながっています。



「主な活動（概要）」（小学校）

<p>【学校名】幕別町立古舞小学校</p> <p>【活動の名称】春・秋のクリーン作戦</p> <p>【活用した資源】地域老人会（長寿会）</p> <p>【対象学年と活動の時期】全学年 5月と9月の年2回</p> <p>【活動の概要】 ・長寿会と一緒に校舎周辺や通学路のゴミ拾いを行うことを通して、異世代間の交流を深める。</p> <p>【ねらい】 ・児童と長寿会との交流を深めるとともに、協力して働くことの大切さと勤労の気持ちを育てる。 ・自分たちの身近な環境を保護し、大切にしようとする心情を育てる。</p> <p>【活動の流れ】 ①年度初めに、担当教師が長寿会三役に連絡し、日程などを調整する。</p> <div data-bbox="252 568 1066 743" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>長寿会の役員が決まり次第、学校に役員名簿を送付してもらい、学校と役員との連携が密になるよう努めている。 クリーン作戦の案内を長寿会三役に送付する際、悪天候などでクリーン作戦延期の際の連絡方法の確認を行う。</p> </div> <p>②実施日前に全校児童を2グループ（縦割り班を活用）に分ける。長寿会にも2グループを編成するよう依頼する。 ③清掃活動を実施する。 ④終了時に、児童会長が長寿会に対してお礼のあいさつをする。</p> <div data-bbox="239 913 1114 1093" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈お礼のあいさつ〉 長寿会の皆さま、今日はクリーン作戦に参加していただき、ありがとうございます。今日で、古舞にあるゴミの1/3ぐらいがなくなっただと思います。そして、長寿会の皆さまと、クリーン作戦を通して交流ができてよかったです。これからも、この活動を続けて、古舞地域をきれいにしていきたいと思います。</p> </div> <p>⑤学校便りなどで、取組の様子を、地域の皆さんにお知らせする。</p> <div data-bbox="252 1137 1082 1720" style="border: 1px solid blue; border-radius: 20px; padding: 10px;"> <p>〈地域に対する取組の様子紹介〉</p> <p>5月11日、好天のもと、長寿会の皆さまと一緒に、春のクリーン作戦を実施しました。北方面と南方面の2班に分かれて、道路の両側の清掃を行いました。</p> <p>今年も、例年に比べて、ごみの量は少なかったのですが、びっくりするようなごみが捨てられていて、子どもたちと苦笑いしていました。また、作業中や合間などには、子どもたちと長寿会の皆さまの楽しい会話が広がり、交流を深めることができました。</p> <p>ゴミの落ちていない古舞地域にするため、長寿会の皆さまと協力して清掃活動ができたことは、大変貴重でした。また、今年も多く皆さまにご協力いただきましたことに感謝いたします。</p> <p style="text-align: right;">〈学校便り「古舞っ子」5月号より抜粋〉</p> </div> <p>【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童と長寿会との異世代間の交流を通して、相互理解が深まった。 ・毎回、児童数を上回る長寿会の参加があり、学校の教育活動や児童一人一人に対する関心が高まっている。 	<table border="1" style="width: 100%; height: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">（項目ウ—観点③環境づくり）</p> <div data-bbox="1134 517 1433 719" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  <p>〈清掃の様子〉</p> </div> <div data-bbox="1155 826 1422 1081" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1155 1133 1426 1319" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  </div> <div data-bbox="1102 1323 1433 1547" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px;"> <p>長寿会からは、交流を通して学校や児童一人一人に対する理解が深まり、これからも積極的に協力したいという意見が寄せられている。</p> </div> <div data-bbox="1126 1554 1426 1715" style="border: 1px solid black; text-align: center;">  </div>								

- 児童と長寿会との交流を通して、相互の理解が深まるとともに、児童に地域の一員としての自覚が育むことにつながっています。
- 縦割り班を活用することにより、異年齢集団の交流も深まり、望ましい人間関係を築くことができます。







「主な活動（概要）」（小学校）

【学校名】 標茶町立標茶小学校	<table border="1"> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>																
【活動の名称】 「縦割り地区遊び」の充実																	
【活用した資源】 町内小中学校																	
【対象学年と活動の時期】 全学年 5月～3月																	
(項目ア—観点②絆づくり)																	
【活動の概要】 ・児童会「みんなと仲よくしたい」が中心となり、月に1回、異年齢集団でのつながりを深める「縦割り地区遊び」活動を行う。児童が住んでいる地区ごとに分かれ、地区リーダーが中心となって遊びを企画する。																	
【ねらい】 ・地区別の縦割り遊びを通して、学年を超えた人間関係づくりをする。(全) ・上級生として自分に与えられた役割を果たすことにより自己有用感を高めることができるようにする。(高) ・低学年や中学年への思いやりの心もち、協力して活動に取り組もうとする態度を育てる。(高) ・高学年に信頼と尊敬の気持ちもち、積極的に参加する態度を育てる。(低・中)																	
【活動の流れ】 ①地区リーダーが中心に「縦割り地区遊び」の取組内容を考え、準備を始める。 ②各月、全校朝会や放送で「縦割り遊び」実施のお知らせをする。																	
	毎月、縦割り遊びのお知らせを児童玄関の前に掲示します。児童会会議の翌日に新しい遊びの予定が掲示されると、低学年の児童を中心に、「次はどこで何をして遊ぶのだろう?」と嬉しそうにお知らせを見えています。																
このような遊びを行いました! ・あさひ地区 いろいろに、おおなわとび ・かいうん地区 コロコロドッチ、だるまさんがころんだ ・ときわ地区 5ほぶつけ ・かわかみ地区 おおなわとび																	
<お知らせの模造紙(児童玄関前)>																	
③「縦割り遊び」を月1回実施する。 ・1回目は各地区顔合わせをする。 ・2回目以降は、全校生が楽しめる遊びを意識して高学年が中心となって遊びを進める。																	
運動場では、はないちもんめや、だるまさんが転んだ、鬼ごっこなどを行いました。名前を呼ぶ必要がある遊びを通して名前と顔を一致させます。	(地区遊びの様子)	外遊びの場が限られる冬期は、外でのそり遊びの他に、室内でカルタやトランプ遊びを行いました。															
④ 前期・後期の活動を振り返り、次年度に引き継ぐ。 ※他校の取組を参考にして、内容の充実を図る。																	
【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】 ・学年を超えたつながりができた。 ・地区リーダーを中心にリーダーシップを発揮し、主体的に企画・運営に取り組む姿が見られた。 ・高学年では、「みんなで楽しめる活動」を意識して取り組む姿が見られた。 ・低学年では、「お兄さんお姉さんに遊んでもらって楽しかった」という感想が寄せられた。																	

- 小グループでの遊び等を計画することにより、楽しく自分が住む地域の児童の顔と名前を一致させることができる活動となっています。
- 前年度の後期や前期の児童アンケート、リーダー反省から課題を明確にすることにより、後期の活動内容を充実させ「異学年集団でのつながりを深める」ことにつながっています。





「主な活動（概要）」（小学校）

【学校名】 標茶町立標茶小学校			
【活動の名称】 ありがとうボックス			
【活用した資源】 同町内小中学校			
【対象学年と活動の時期】 全学年 4月～3月	(項目エー観点③環境づくり)		
【活動の概要】			
<ul style="list-style-type: none"> 児童会「ありがとうを伝えたい」が中心となって企画し、全校児童を対象に「ありがとうのメッセージ」を募集し、寄せられたメッセージの紹介や廊下掲示などを行う。 			
【ねらい】 <ul style="list-style-type: none"> 「ありがとう」を互いに伝え合うことから、深める人間関係づくりを行う。 児童同士が思いやりのある言動を積極的に見つけ、認め合う活動を通して、思いやりのある行動や温かい言葉掛けを全校に広げる。 「ありがとう」を言う機会を意識させ、日常的に伝え合える環境をつくる。 			
【活動の流れ】 <ol style="list-style-type: none"> ①児童自身が「ありがとうボックス」の活動を推進することをPTA総会や学校だよりなどをおして、保護者に周知する。 ②取組の内容を児童総会で決定し、朝会などを通して全校児童に周知する。 ③ありがとうボックス（回収箱）を設置する。 ④運動会、学芸会など行事ごとに「ありがとうボックスフェア」を児童主体で企画し、実施する。 ⑤投函されたメッセージを掲示するとともに、全校朝会で紹介する。 			
<p style="text-align: center;">＜寄せられたメッセージ＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○修学旅行の時に六花亭に行くのに駅から真逆の方向に行ってしまいました。その時に「まあしょうがない。」と失敗を責めないでくれたので、とても助かりました。(6年生) ○スタンプで痛いのに支えてくれてありがとう。励ましてくれてありがとう。(6年生) ○学校の外の勉強の時に前が見えづらかったけど、「ここ見えるよ」とか「こっちおいで」と優しく声をかけてくれてありがとう。(5年生) ○楽器係の人へ、今日は木琴や鉄琴など色々出してくれてありがとうございます。(3年生) ○昨日、僕が中休みに頭が痛くなった時に、保健室に行こうとしたらついてきて、心配をしてくれてありがとう。(2年生児童) ○6年生のみなさん、児童公開日の時に6年生の劇をととても楽しみにしていました。とてもいい劇を見せてくれてありがとうございます。(2年生) ○リレーの時、がんばらせて言ってくれてありがとう。(2年生) ○教室に入るのがつらかったときに、がんばらせて言ってくれてありがとう。(1年生) 			
	 <p style="text-align: center;">＜校内掲示（廊下）＞</p>	 <p style="text-align: center;">＜学芸会フェア掲示＞</p>	 <p style="text-align: center;">＜運動会フェア掲示＞</p>
<ol style="list-style-type: none"> ⑥「ありがとうボックス」の取組を「標茶町いじめ撲滅子ども会議」で発表する。 ※他校の取組を参考にして、内容の充実を図る。 ⑦半期、年間の「ありがとうボックス」の活動を振り返り、次年度に引き継ぐ。 			
【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】 <ul style="list-style-type: none"> ・「ありがとう」を積極的に伝え合える温かい環境や人間関係ができた。 ・学年を超えたつながりができた。高学年は、低学年に対して優しくしようという意識と高学年としての責任感、低学年は、お世話をしてくれた高学年への尊敬の気持ちが育まれた。 			

- 「ありがとうボックス」を活用することにより、4月に1年生に対して、6年生からお世話をもらったことへの感謝の気持ちを示すことについて指導することができています。
- 全学級の帰りの会で「ありがとうタイム」を設定し、その日に書かれたありがとうのメッセージを紹介することで日常的に関心を高め、感謝の言葉を伝え合う雰囲気づくりにつながっています。




「主な活動（概要）」（小学校）

【学校名】根室市立花咲小学校			
【活動の名称】 「SGE：戦いを終えて」			
【活用した資源】運動会			
【対象学年と活動の時期】高学年（第5・6学年）、運動会後			
【活動の概要】 ・運動会の振り返りの際に、運動会を通して輝いていた人は誰か、とてもよかったエピソードは何かなどを話し合ったり、発表し合ったりする。			
【ねらい】 ・運動会に関わる「目標設定⇒練習⇒本番⇒振り返り」の取組を通して、仲間意識や学級への所属感を高める。また、お互いの健闘を讃えることで、児童の自己有用感を高める。			
【活動の流れ】 ①運動会で思い出に残っている出来事や、クラスメイトのがんばりなどについて自由に発言する。			
<p>【発言例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 最後の運動会を優勝で飾ってよかった。 リレーの〇〇くんの最後の追い上げがよかった。 練習では失敗ばかりだったけど、本番は成功した。 応援団の気合いの入り方がよかった。 係の仕事をしっかりできてよかった。 			
②ワークシートに、「輝いていた人」「よいエピソード」「がんばったこと」等を書く。 ※この時に、全員が「輝いていた人」に選ばれるように配慮する。			
<p>【ワークシート記入例①】</p> <ul style="list-style-type: none"> A君がリレーでバトンを投げたり、落としたりしても、「よくがんばったね」とか「一生懸命走ってすごだね」と声を掛けていた。 			<p>【ワークシート記入例②】</p> <ul style="list-style-type: none"> 白組が優勝したけど、ムカデ競争の時の赤組の追い上げがすごかった。 応援団のB君の声がとても大きくて、みんなの力が湧いてくる応援だった。 Cさんは怪我で競技に出られなかったけど、誰よりも応援をがんばってくれた。
③ワークシートを基に、班になって話し合う。 ④班で話し合った内容を発表する。 ⑤学級担任から、がんばりを認める言葉や、クラスとして成長した点などを伝える。			
※他に予定している構成的グループエンカウンターを取組			
1. 「わたし発見、あなた発見」			
①「私は〇〇が好きです」「私は〇〇が嫌いです」など自分のことを周りの人に話す。その時に「なぜなら～だからです」と理由を添える。			
②次に、「私はあなたが好きです。なぜなら～だからです」と全員が一人の人に言う。この時に最初に話した相手の好きなものや嫌いなものなどを参考にする。			
③お互いのことを知ることができ、周りに自分のよいところを言ってもらうことで、自己肯定感を高める。			
2. 「どっちがいい？」			
①「プリンとゼリー」などの簡単な選択肢から「愛とお金」など、児童の本心をつく選択肢を用意し、自分の考えでどちらかよいと感じた方を選択する。			
②なぜそれを選んだかを互いに発表し合い、他者との違いを認めるとともに、自分の感覚や考えを顧みる気持ちを育む。（他者理解・自己理解）			
【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】			
・お互いを認め合うことができ、より学級の仲間意識が高まった。＜絆＞			
・学級への所属感が高まり、自分の居場所としての学級という意識が高まった。＜居場所＞			

- 児童同士が、互いを認め合ったり、学級担任から肯定的な評価をされたりすることにより、自己肯定感や仲間意識が高まっています。
- 児童の絆はもとより、「ここは自分のことが認められる場所だ」という所属する学級における安心感につながっています



「主な活動（概要）」（小学校）

【学校名】根室市立花咲小学校				
【活動の名称】 いじめゼロ集会				
【活用した資源】児童会				
【対象学年と活動の時期】4年生以上 9月・3月				
【活動の概要】 ・「いじめをどうしてもなくすることができるか」をテーマに、パネルディスカッションを行う。				
【ねらい】 ・いじめをなくすための方策を考えることを通して、いじめは絶対に許されないことだという意識を高める。 ・児童会が主催し、いじめの問題について高学年での話し合いにおいて、いじめの未然防止に向けた全校で取り組める方法を考えさせる。				
【活動の流れ】 ①事前指導 ・各学級で「どうしたらいじめをなくすることができるのか」をテーマに話し合いを行い、クラスの意見をまとめる。 ⇒NHK教育「いじめをノックアウト」の「100万人の行動宣言」を活用する。 ・パネルディスカッションについて学習する。（第6学年国語科） ・児童会役員は、司会や集会の運営の仕方について確認する。 ②いじめについて考える集会 ・司会者からパネリストの紹介と、話し合いの概要について説明する。 ・パネリストが学級の意見を発表し、パネリスト同士で意見交換を行う。 ・パネリストとフロアの意見交換を行う。 ・司会者が話し合いをまとめ、花咲小学校としての意見をまとめる。				
<p>（パネリストからの意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで遊ぶ機会を増やす ポスターなどを使って呼びかける 傍観者を味方につける いじめBOXを作って、早期発見する など <p>（全体のまとめ）</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊ぶ機会を増やすことで、お互いをより知ることができて、いじめが生まれない環境がつけられる。 集会委員会などの企画に進んで参加して、全校でそのような環境をつくっていこう。 				
				
＜討論の様子＞	＜まとめの発表＞	＜パネリストの発表＞		
③事後指導 ・各学級で振り返りを行う。 ・児童会は話し合いの結果、まとめた意見を校内に掲示する。				
【いじめの未然防止に関わる本活動のメリット】 ・具体的な解決策が話し合われ、学校全体として取り組む活動を明確にすることができた。				

- いじめをなくすためにどうしたらよいかを真剣に考えることで、児童に「いじめは絶対に許されない」という意識を高めることにつながっています。
- いじめの未然防止に向けて、児童会の取組に主体的に参加することにもつながっています。

